

(ケアの人間学～いのちを紡ぐ・ひとをつなぐ～)

## 〈やさしさ〉の地平

～ケアの根底を見つめる～

**講師：崎川 修 先生** (ノートルダム清心女子大学 准教授)

**略歴** 1971年東京生まれ 上智大学大学院哲学研究科博士後期課程満期退学。  
2009年上智大学常勤嘱託講師(キリスト教人間学)。2013年より現職。  
専門は現代哲学、人間学、キリスト教倫理。

**著書** 共著書に『心とは何か』(北大路書房)『ニヒリズムとの対話』(晃洋書房)  
『教養としての応用倫理学』(丸善出版)『ケアを生きる私たち』(大学教育出版)など。2020年3月に単著『他者と沈黙』(晃洋書房)を刊行予定。

ケアの営みは、限りあるいのちを生きる私たち人間が、その「弱さ」ゆえに与えられた豊かな可能性です。しかし私たち一人ひとりが、ケアを見つめ、引き受けていかなければ、その豊かさは容易に損なわれ、見失われてしまうでしょう。これまでの講座では、「ケアとは何か」という根本的な問いを大切にしながら、人生の様々な場面に即して、いったいどのような「ケアの姿勢」が私たちの生(いのち＝くらし)をつなぎ、支えていくのかを、様々な角度から一緒に考えてきました。

今回は年度の締めくくりとして、ケアの本質を学びなおしながら、「やさしさ」というキーワードから、現代の難しい社会状況の中で、ケアの力に求められている役割とともに、ケアに特有の「難しさ」を見つめたいと思います。ケアの持つ「やさしい」イメージは、決して間違ったものではありませんが、やさしさゆえに抱え込まれる苦悩を、どうやってときほぐし、乗り越えていけるのかは、とても重要な問題です。ドストエフスキーの小説や聖書の言葉、共依存の問題などを通じて、一緒に考えていきたいと思っています。  
(当日はプリント資料を配布する予定です)

**日時** : 3月1日(日) 14:00～16:30

**場所** : 援助修道会 本部修道院 リヒト宣教室

〒162-0843 新宿区市谷田町2-24 Tel 03-3269-2405

JR「市ヶ谷駅」徒歩10分、地下鉄南北線・有楽町線「市ヶ谷駅」5番出口 徒歩3分

<http://auxijapan.com/access/>

**参加費** : 自由献金制です。

(終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。各自が飲食した分を、お支払いください。)

どなたでも参加できます。事前申し込みは、不要です。

**主催** : **ベグライテン** <http://begleiten.org/> <https://www.facebook.com/begleiten2>  
(私たちは、ケアの哲学と公共哲学を学び、身につければ、一人ひとりが豊かに個性を開き、発展させることができる社会を築くことができると考えています。)

**問合せ先** : 関根 090-9146-6667 [k\\_sekine@f7.dion.ne.jp](mailto:k_sekine@f7.dion.ne.jp)